



# 北海道キャンプ協会 かわら版

2012. 11. 16

北海道キャンプ協会 発行

TEL. 0134 (52) 3240

## 北海道キャンプ協会設立20周年記念式典を終えて

北海道キャンプ協会設立20周年記念事業実行委員長 秋葉 聡志

去る10月27日に、20周年記念事業のメインイベントともいえる、記念講演会、記念式典、祝賀会を無事に終えることができ、実行委員長としてまずはほっと一息ついています。お支え頂いた関係の皆様へ改めて心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。思えば2年前、2010年（平成22年）6月の協会理事会で20周年事業の実施を決議し、担当理事に選任されたのが始まりでした。10月には、記念事業検討委員会を開き、実施時期、事業内容、予算等、記念事業のフレーム作りに着手しました。その後、2011年度は様々な講習会、BUCの機会に会員の集いを開き、協会員の皆様の、協会や周年事業に対する意見を広く聞かせていただきました。また、福島県キャンプ協会の30周年記念式典に視察と周年記念事業のアピールを兼ねて、協会員の仲間5人で出席させていただいたりもしました。その際には、ワゴン車に乗ってフェリーで移動という珍道中でしたが、フェリーの中での「飲みニュケーション」や帰りに石巻の被災地を宮城県協会の方に案内していただいたりと、印象深い思い出となりました。

当初は、夢は膨らみ、壮大な記念事業構想になりつつありましたが、結果的には身の丈に合った記念事業に落ち着いたように思います。皆様から頂いた様々な意見の実現には遠く、お叱りを受けるかもしれませんが、頂いたアイデアは今後の活動に活かして参りたいと思います。

今回の事業の実施に当たっては、改めて人のつながりの有難さと協会員の皆様のパワーを感じました。記念講演会の講師の人選しかり、式典会場、祝賀会・宿泊会場の手配しかり、祝賀会の見事な料理の内容しかり、1年前から具体的な準備を始め、首尾よく手配を進められた中には、様々な団体に所属するキャンプ仲間のここぞとばかりの協力があつたればこそと思います。本当に心強いわかりでした。当日の運営もまさに適材適所、現場対応、臨機応変で、キャンプ指導そのままでした。

記念事業は今年度いっぱい続き、助成事業の募集、巡回BUCが残されています。今後とも皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



### 北海道キャンプ協会設立20周年事業参加者より

#### 記念講演会編

20周年事業の一環として、札幌市にあるエルプラザにて記念講演会が行われました。旭川市旭山動物園園長の坂東元氏を講師にお招きし【命を見つめる】という題目のもと、多様な生物が共生していく環境を整備していくことの大切さについて講演をして頂きました。講演では、旭山動物園で行われている動物本来の能力や習性を見せる「行動展示」のお話や実際の映像も交えつつお話をして下さいました。中でも、動物園業界ではタブーとされていると言われる、動物たちの死を来演者に伝える為の喪中看板の説明が大変印象的でした。旭山動物園を含め、他の動物園においても動物たちの新たな誕生については大きく取り上げるものの、死については取り上げることがない中で「命が生まれるなら、必ず死ぬ」と言う事を伝える、それこそが命を見つめる本来の意味なのだと感じられました。



今回の講演を通し、一人ひとりが命を見つめ、私たちが活動する自然と共生していったならばよりよい25周年・30周年へと繋がっていくのではないかと感じました。

北海道 YMCA 木田貴浩

### 記念 BUC 編

「自然とふれあう～プロジェクトワイルド体験～」をテーマとし、講師に二杉寿志さんを迎え、道内各地の学生から社会人までの計14人の幅広い年代の方々が参加しました。複数のアクティビティが書かれた付箋を黒板に並べ、その中から実施したいアクティビティを参加者が選ぶという二杉さんらしい始まりから、限られた時間の中でアクティビティを体験しました。

今回は、プロジェクトワイルドにとどまらず、プロジェクトラーニングツリーやOBISなど7種類に及び手法の紹介もしていただき、その中から5種類のアクティビティを体験しました。

アクティビティでは、グループで考えたり、相談したりと、夢中になって取り組み、時には嗅覚などの五感を使うものもあり、楽しく活動をすることができました。

参加者の中には、指導者として活動している方も多いことから、二杉さんが実際に指導の現場でどのように実施しているか、また、導入やふりかえりでの言葉の投げ掛け方、指導の留意点などのお話もしてくださり、二杉さんは対象に合わせることはもちろん、アクティビティを組み合わせアレンジして指導しているということでした。参加者一同、ゆったりとした時間のなかで貴重な体験をすることができ、体験のなかで生活環境や生きものについての理解を深め、また、指導についても考えることができました。

二杉さんをはじめ北海道キャンプ協会、参加者のみなさん、ありがとうございました。

北海道立洞爺少年自然の家 上木祐弥

### 旭山動物園ツアー編

東北ブロックの皆様主体に総勢26名。いざ、旭山動物園へ！発車直後から大変賑やかな貸切バスは、動物園に到着するまで前日の祝賀会の2次会のように盛り上がっていました。（さすが、東北の皆様…！！）アツと言う間に動物園に到着。オフシーズンの筈ですが観光バスが並び、賑わっていました。入場前の皆さんの話題は、坂東園長の講演会に登場した動物たちでした。「オラウータンに会いたい！」などと入場後は、期待に胸ふくらませて自由見学がスタートしました。趣向を凝らした展示は、それぞれ様々な観点から各動物たちを見ることができ、楽しい一時を過ごしました。お帰りのバスは、皆さんぐっすりと就寝タイム。皆さん、また北海道で会いましょうね。

北海道キャンプ協会常任理事 安原政志

## まだまだ続く20周年記念事業！

本協会では、設立20周年を記念し、本協会会員を対象に以下の事業を行っています。

### 1. 「助成事業」(2次募集) 開始

本協会員が実施するキャンプ活動を支援するため、以下のとおり助成を行うことといたしました。現時点で、1件の事業実施となりましたので、ここに2次募集いたします。

記

1. 助成対象となる活動の目的  
(1) 北海道キャンプ協会会員相互の交流  
(2) 道内におけるキャンプ活動の活性化
2. 助成対象者  
北海道キャンプ協会会員、又は北海道キャンプ協会会員が所属する団体
3. 助成対象となる事業の実施期間  
平成24年8月1日～平成25年3月31日
4. 助成額  
1活動あたり5万円まで
5. 応募方法と締切  
平成24年12月31日(月)17:00までに申請書(様式1)を事務局に提出

### 2. 「BUC事業」募集

本協会員の活発な相互交流の機会を作るため、BUC(ブラッシュアップ&コミュニケーション)の開催を希望する地域に対し、講師派遣や会場費等の助成を以下のとおり行います。

記

1. 助成対象となる活動の目的  
北海道キャンプ協会会員の技術向上、相互の交流等
2. 助成対象者  
北海道キャンプ協会会員、又は北海道キャンプ協会会員が所属する団体
3. 助成対象となる事業の実施期間  
平成24年6月～平成25年2月
4. 助成内容  
・講師1名派遣  
・参加者の保険料金(キャンプ協会の日帰り保険)  
・現地スタッフ協力者(申請者)謝礼5,000円

皆様のご意見、ご要望はお気軽に…

## 北海道キャンプ協会

担当/安原・岩崎

〒047-0155 小樽市望洋台2-14-1 望洋ゲルツ(特)自然教育促進会内

TEL 0134(52)3240 FAX 0134(51)5667

E-mail office@hokkaidocamp.com

URL <http://www.hokkaidocamp.com/index>